

愚か者の日 (1981)

TAG DER IDIOTEN

メディア 映画
ジャンル
製作国 西ドイツ
色彩 Color
時間 110分
初公開日 1991/04/19
公開情報 大映インターナショナル
リバイバル 1991/04 [アルバトロス]

【キャッチコピー】

美しすぎて、生きたい……

【解説】

女だけの精神病院を舞台に、一人の若く美しい女性を通して、人間の狂気の奥に潜むものを描きだした衝撃作で、ヴェルナー・シュレーター監督の長編第一作。裕福な家庭に生まれ、何不自由なく生活していたキャロル。だが彼女の心は深い闇に閉ざされていた。そんな彼女は日頃周りの人間や恋人のアレキサンダーにわがまま放題で、無茶な要求ばかりして困らせていた。しかしその原因は本人は勿論の事、誰にも分からない。キャロルの行動は日増しにエスカレートしてゆき、ある日近所に住む女性を見境なくテロリストだと警察に密告したことから、逮捕され、精神病院に収容されてしまう……。この映画は、彼女が精神病院で繰り広げる様々な行動を通し、人間の内面というものを描いたものであるが、監督はこの感情の世界を異常で詩的な映像に置き換え、そこにカフカの不条理、実存主義、死、エロティシズムなどを混沌とさせ、グロテスクなまでに美しい人間究極の世界を露呈させている。

【クレジット】

監督	ヴェルナー・シュレーター	Werner Schroeter
製作	ハラルト・クーグラー	Harald Kugler
脚本	ヴェルナー・シュレーター レベッカ・レルツ	Werner Schroeter
撮影	イヴァン・シュラペタ	
音楽	ペール・ラーベン ビエリ・ラクレーネ	Peer Raben
出演	キャロル・ブーケ イングリット・カーフェン クリスティーネ・カウフマン マグダレーナ・モンテツマ	Carole Bouquet Ingrid Caven Christine Kaufmann Magdalena Montezuma